

# 区長配分子算を 7区で2億円に

## 堺市長が意向

堺市の木原敬介市長は22日の定例会見で、一般公募で選んだ区長に配分する予算を7区で計約2億円にするなど、権限や財源を大幅に拡充する考えを示した。

区長の一般公募は南区から始め、残る6区は順次導入することとしている。市の基本計画に沿うものであれば、一般公募区長が地域独自の課題を解決するための権限を「思い切って拡充したい」と語った。区長判断で使いたいのできる予算



は「7区計2億円程度にしたい」と述べた。府へ30年間で80億円拠出の条件を示して府立天

政令指定都市移行まで100日を示す電光掲示板を木原敬介市長らが点灯させた。堺市で日となり、移行する来年4月1日までの日数をカウントダウンする電光掲示板が点灯された。木原市長は「指定市移行は、堺にとって飛躍、発展のための大きなチャンスです」とあいさつした。23日から市庁舎前広場に設置される。

# 堺市長 「自主的財源を配分」 公募の南区長に裁量

政令指定都市移行まで百日となった大阪府堺市は二十二日、市役所で記念行事を開き、政令市のポスターを利用したボードにカウントダウンの日に数を示す「100」を点灯した。この日記者会見で、木原敬介市長は公募した南区長について「自主的に使える財源を思い切った配分したい」と述べた。

つ美原区を除き、六区で自主的に使える財源の合計額は約二億円。市長は「各区の人口規模などを参考に配分するが、モデル区となる南区にある程度の差を付けたい」と話した。

区役所の職員人事はまず区長が素案をまとめ、市と協議してもらおう方針。民間人を含めた区長公募は政令市で初めてで、二〇〇六年一月五日に募集を始める。四月一日に区役所開所式、政令市移行記念式典を開く。

同日夕の記念イベントでは木原市長らがカウンタダウンボードに点灯し、同時に開いたクリスマスコンサートで地元の幼稚園児ら約六十人が歌や踊りを披露した。

木原市長は市民ら約五百人を前に「堺が飛躍するチャンスととらえたらどうでしょうか」とあいさつした。

2005年(平成17年)12月23日(金曜日)

日本経済新聞